

取扱説明書

インデックスマン
ローラギアカムユニット

RGIS・RGOS・RGCS

RGIL・RGOL

RGIT・RGCT

RGIB

RGIM・RGCM

RGID・RGCD

シリーズ

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために ご使用になる前に必ずお読みください

インデックスマンを使用した装置を設計製作される場合には、
装置の機械機構とこれらをコントロールする電気制御によって運転されるシステムの安全性が
確保できる事をチェックして安全な装置を製作する義務があります。

当社製品を安全にご使用いただくためには、製品の選定および使用と取扱い、ならびに適切な
保全管理が重要です。

装置の安全性確保のために、警告、注意事項を必ず守ってください。

 **警告：** 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる
(WARNING) ことが想定される場合。

 **注意：** 取扱を誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生す
(CAUTION) る危険な状態が生じることが想定される場合。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く恐れがあります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

特別仕様の場合には、製品仕様が本取扱い説明書の内容と異なる場合があります。
製品毎の仕様図等でご確認ください。



警告：

- 製品固有の仕様範囲内で使用してください。
仕様範囲外の負荷や回転速度ではインデックスマンの破損や動作不良・精度不良の原因となりますので、使用しないでください。
- インデックスマンの運転中に可動部に触れないでください。
けがの原因になります。
- インデックスマンの出力部動作中に、入力軸を急停止させないでください。
- ① クラッチ・ブレーキ等で入力軸を急停止させると設計値以上の負荷トルクが働き、インデックスマンの破損によりテーブル等がオーバーランして、けがや装置全体の破損の原因になります。
- ② トルクセーバが付いている場合、トルクセーバがリリースし、テーブル等がオーバーランして、けがや装置全体の破損の原因になります。
- ③ やむを得ず安全確保のため等で非常停止が必要な場合は、急停止を避けるなど止める方法を検討すると共に、非常停止時の負荷トルクに耐えられるサイズのインデックスマンやトルクセーバを選定してください。
- 通電状態で保守・点検作業を行なわないでください。
誤動作、または制御回路の故障により突然動き出す可能性があり、けがの原因になります。
- 爆発・火災の恐れのある雰囲気中では、使用しないでください。



注意：

- 組付けには機械の組立について基本的な知識を持った人が行なってください。
誤った組付けをされますと、けがや装置破損の原因になります。
- インデックスマンの起動・停止は停留部で行なってください。
入力軸を停留部以外で起動・停止させると、設計値以上の負荷トルクが働き、インデックスマンの破損等の原因になります。
- 入力軸に位置検出用カムが付いている場合、位置がずれていないか、定期的に確認してください。
ねじのゆるみ等で検出位置がずれている場合、装置が誤作動し、けがの原因となります。
- 水・油のかかる環境ではご使用にならないでください。
本製品は防水・防滴仕様ではない為、インデックスマンの動作不良や破損の原因になります。
水・油がかかる場合、カバーなどの対策をお願いします。
- インデックスマンには潤滑油が入っております。ご使用中にオイルシール部等から油がにじみ出す可能性があります。定期点検を実施いただくと共に、対象ワークの不良等事故につながる場合は油受け等の設置をお願いします。

保証条項

保証期間と保証範囲に関する取り決めに次の様にさせていただきます

1). 保証期間

本製品の保証期間は、納入後1年間といたします。(但し、1日の稼働時間を8時間以内といたします。また1年以内に耐久性に達した場合は、その期間とします。)

2). 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責による故障を生じた場合、その製品の修理を無償で速やかに行わせていただきます。

ただし、次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ①製品仕様に記載されている条件・環境の範囲を逸脱して使用された場合。
- ②取扱不注意などの誤った使用および誤った管理に起因する場合。
- ③故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- ④製品本来の使い方以外の使用による場合。
- ⑤納入後に行われた当社が係わっていない構造、性能、仕様などの改変および当社指定以外の修理が原因の場合。
- ⑥本製品を貴社の機械・機器に組み込んで使用される際、貴社の機械・機器が業界の通念上備えられている機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合。
- ⑦納入当時に実用化されていた技術では予見できない事由に起因する場合。
- ⑧火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による場合。
- ⑨お客様から支給を受けて組み込んだ部品や、お客様のご指定により使用した部品などが原因の場合。
- ⑩当社製品に組み込んだベアリングやオイルシールなどの消耗部品が、消耗・摩耗・劣化した場合。

また、オプション等で取付けする部品（スイッチや駆動部品など）については運転条件により寿命が異なるため各メーカーの保証範囲に準じた保証とさせていただきます。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は除外させていただきます。

3). 国外へ輸出した場合の保証

①当社工場または、当社が指定した会社・工場へ返却されたものについて修理を行います。

返却に伴う工事および費用については、補償外といたします。

②修理品は、国内梱包仕様にて国内指定場所へ納入いたします。

本保証条項は基本事項を定めたものです。個別の仕様図又は仕様書に記載された保証内容が本保証条項と異なる場合には、仕様図又は仕様書を優先します。

目 次

インデックスマン ローラギアカムユニット

RGIS, RGOS, RGCS

RGIL, RGOL

RGIT, RGCT

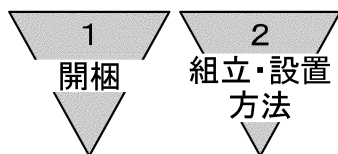
RGIB

RGIM, RGCM

RGID, RGCD

取扱説明書 No. SMB-68

はじめに	5
1. 開梱	5
2. 組立・設置方法	5～9
3. 運転準備	9
4. 適切な使用方法	10～12
5. 保守	13, 14
6. 故障と対策	14
7. 廃棄	14
8. 製品仕様	15
9. 内部構造図	16～22
10. その他	22



はじめに

このたび当社のローラギアカムユニットをご選定いただき、有難く厚くお礼申し上げます。

本機は超精密加工されたローラギアカムとカムフォロア付タレットが内蔵される簡単な構造で、間欠割出駆動の高速、高出力、高精度が保証できるようになっています。

しかし何分にも機械ユニットであり、取扱いや、手入れの仕方如何で性能、寿命に大きく影響いたします。

ご使用上の注意事項、保守点検項目を以下に述べますので、性能をいつまでも維持し、故障なくご使用いただくため、本機の運転の前にこの取扱説明書を一読されることをお願いいたします。

1. 開梱

ご注文どおりの製品かどうかご確認ください。

1) 製品形番

2) 輸送中の事故による破損はないでしょうか。

ネジの抜け、油漏れ、軸の曲がり等万一不具合な点がありましたら、お求めになった支店、営業所または代理店へご連絡ください。

2. 据付方法



注意

- 組付けには機械の組立について基本的な知識を持った人が行なってください。
- 誤った組付けをされますと、けがや装置破損の原因になります。

1) 据付姿勢については打合せをした仕様の姿勢で据付けてください。

据付姿勢に合せて給排油口、油面計の位置が加工してあります。

2) 点検、分解、組立が容易に行え、油面計の確認ができる配置に据付できるよう考慮ねがいます。

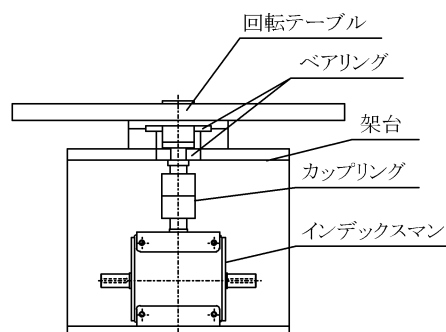
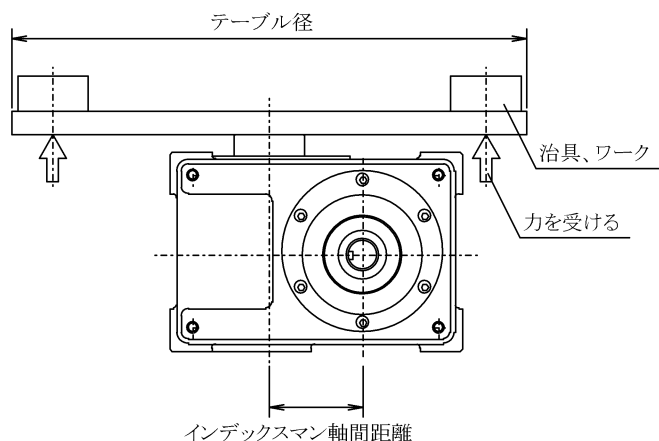
3) 許容最大テーブル外径

テーブルの最大径はインデックスマン選定時に計算された許容最大テーブル外径以内でご使用ください。

4) 出力軸の許容スラスト力

カタログに記載された許容スラスト力以内で使用ください。

負荷トルク計算をしてインデックスマンの動定格出力トルク以内で、許容スラスト力を越える場合、回転テーブルはスラストベアリングまたは、ローラ等で個別に力を受ける構造にしてください。



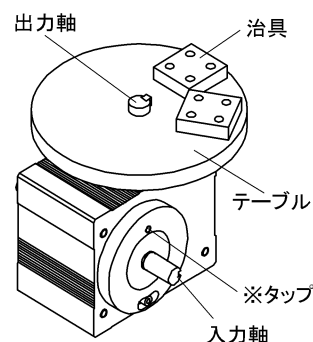
2 組立・設置 方法

5) 取扱の注意

(1) 小型インデックスの出力軸にテーブル、治具を組付ける際、ボルト締め等する時はカムフォロアに力(締めつけトルク)がかからないように行ってください。カタログ表示の静的トルクを超えるとカムフォロアの曲り又は破損する場合があります。ボルト等を締める時は出力軸が回転する位置で行い、テーブルを手で支えながら行ってください。

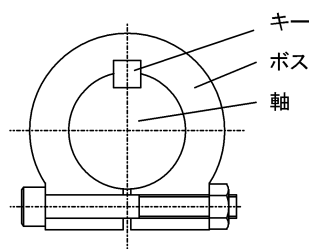
(2) RGIS025、032のハウジングはアルミニウムです。出力軸側と反出力軸側の取付面以外のタップ穴にはヘリサートが挿入してありませんのでねじの締付トルクに注意してください。

入力軸のボスの部分にあるタップ穴(右図※部)は使用しないでください。



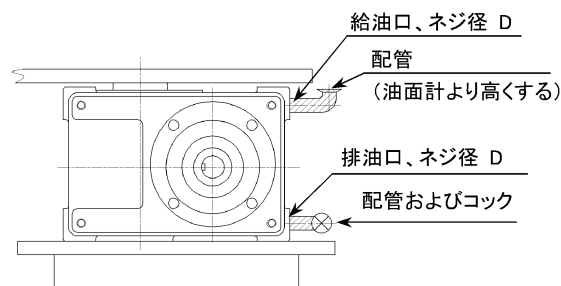
6) カップリング、ギア、スプロケット、プーリ、カム、ボス等と軸との固定方法としてキーを使用することが多くありますが、キーにガタがあると必ずショックや振動の発生源となります。

RGIS・RGOS・RGCS040～450, RGIT・RGCTのキー材には1種キー(JIS B 1301-1959)を、その他の機種は普通形(JIS B 1301-1996)を推奨します。特に重要な部分の固定にはキーだけにたよらず、割形、摩擦締結材などにより確実に締付けられる方法を採用してください。



7) 潤滑油交換を目的にした配管

インデックスマンを自動機に組込んでしまうと、潤滑油の交換ができないことが時々あります。このような場合には、自動機の組立時にインデックスマンの給排油口に配管を施して、容易に潤滑油が交換できるよう検討することをお勧めいたします。



機 種	給排油口 ネジ径 D
RGIS・RGOS 025	-
RGIS・RGOS 032	
RGIS・RGOS・RGCS 040	Rc 1/4
" 050	
" 063	
" 080	Rc 3/8
" 110	
" 140	Rc 1/2
" 180	
" 250	
" 300	Rc 1
" 350	
" 450	Rc 1 1/2

機 種	給排油口 ネジ径 D
RGIL・RGOL 063	Rc 1/4
" 080	Rc 3/8
" 110	
" 140	Rc 3/4
" 180	
" 250	Rc 1/4
RGIT・RGCT 063	
" 080	Rc 3/8
" 110	
" 140	Rc 1/2
" 180	Rc 3/4
" 250	Rc 1
" 350	Rc 3/4
" 450	Rc 1

機 種	給排油口 ネジ径 D
RGIB 250	Rc 3/4
" 350	
" 450	Rc 1
RGID・RGCD 200	Rc 3/8
" 250	
" 300	Rc 1/2
" 350	
" 450	Rc 1
" 600	
" 700	Rc 1/4
RGIM 063	
" 080	Rc 3/8
" 100	

2
組立・設置
方法

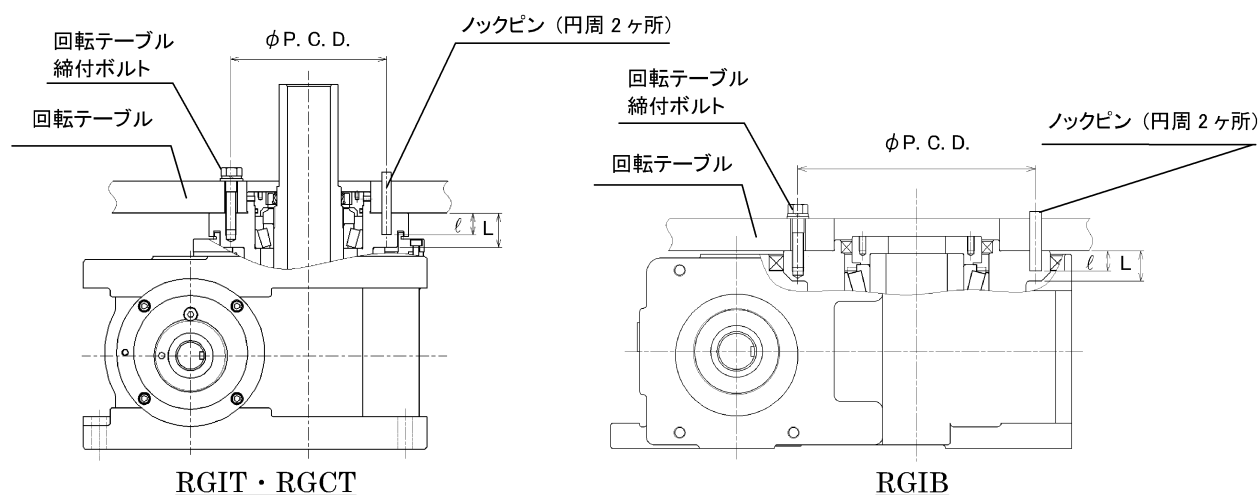
8) 回転テーブル治具の設計

- (1) 回転テーブル径、治具の取付ピッチ径は小さく、質量は軽くするように心掛けてください。これは負荷トルクを計算していくと径が2乗で影響することが判ります。

この他にも回転テーブル径を小さくすることは、機械加工時に汎用機械で加工でき、また運搬も楽になるなどのメリットが多くできます。

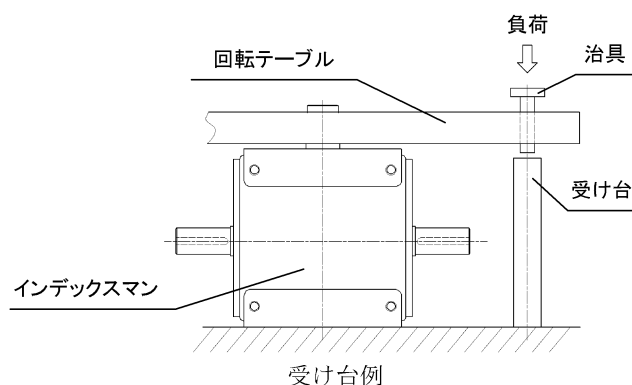
- (2) 回転テーブルは治具取付後ボルト締付だけでなく、必ずノックピンを2ヶ所打ち、取り外した後の再現性を考慮してください。(フランジタイプ)

RGIT・RGCT, RGIB 回転テーブルノックピン関係寸法図(その他の機種はお問合せ下さい)



機種	ノックピン下穴深さ寸法表 (ℓ)	出力軸肉厚寸法 (L)	φ P. C. D
RGIT 063	19	24	80
RGIT 080	20	25	105
RGIT 110	27	32	145
RGIT 140	29	34	220
RGIT 180	34	39	300
RGIT 250	38	43	420
RGIT 350	60	70	440
RGIT 450	65	75	560
RGIB 250	37	42	330
RGIB 350	55	65	430
RGIB 450	70	80	560

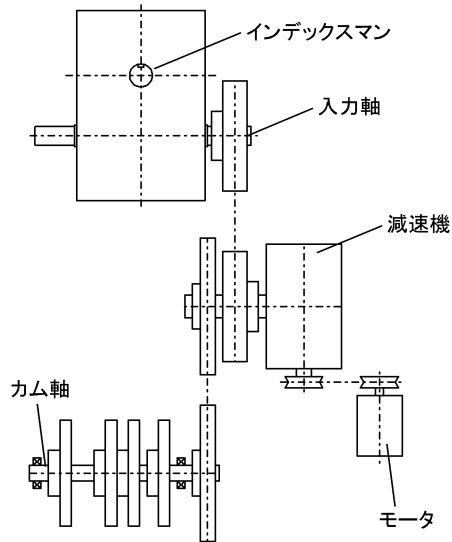
- (3) 自動機械の作業としてプレス、刻印、カシメなど上からの垂直負荷がかかる場合は、回転テーブルや、インデックスマンに直接負荷をかけないで、必ず受け台、もしくはそれに代わる装置を取付けてください。



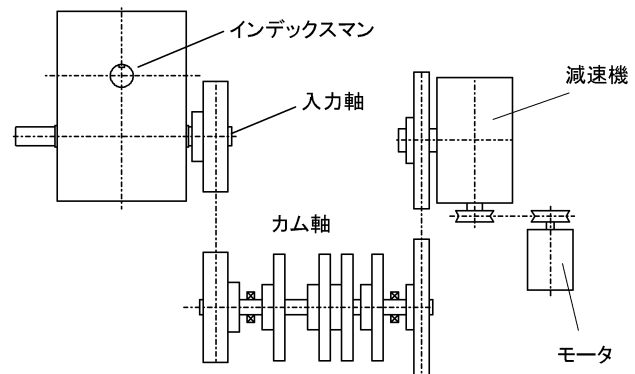
- 9) モータからインデックスマン入力軸までの駆動系はバックラッシを極力少なめにし、また剛性を持たせるように努めてください。バックラッシがあると、テーブル回転時のショック、本体の寿命低下、部品の破損等を引き起こす原因となります。

(1) モータとインデックスマンの入力軸の間に他の入力軸を直列に入れないでください。

入れる場合は剛性に十分注意してください。



良い駆動例

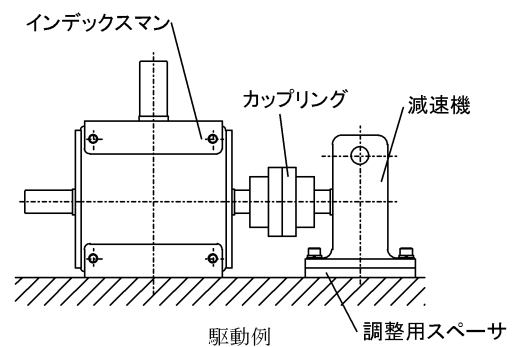


ショックの出やすい例

- (2) インデックスマンの入力軸と減速軸を直接カップリングなどで接続する場合

バックラッシの出にくいカップリングの使用、芯ずれの調整ができることも考慮しておいてください。

(設計上スペースがあればインデックスマンと減速機が一体になったものが用意してありますのでご活用ください。)

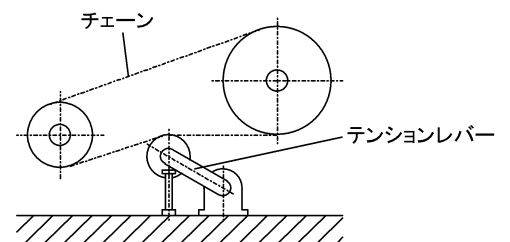


駆動例

- (3) 連続回転使用の場合と軽負荷の場合で起動停止頻度が5回/分以下の場合はブレーキモータでも使用可能です。

その他の場合は、クラッチブレーキ装置を入れるか、クラッチブレーキ付モータを使用してください。

- (4) タイミングベルトやチェーンを使用する時には必ずテンション装置を確実に取付けてください。テンション装置がないと、ショックや振動の原因となります。



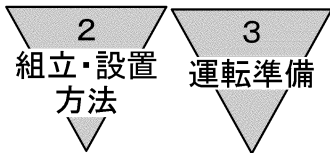
テンションレバー例

10) 軸芯に注意

軸の接続をカップリング等で行う場合、軸芯を合わせてください。

芯がずれてしまうと、軸の折損の原因にもなります。

11) モータの周囲には可燃物を置かないでください。



12) モータの周囲には通風を妨げるような障害物を置かないでください。
異常過熱による火傷、火災の恐れがあります。

13) インバータで運転する場合、インバータの規定周波数内で使用してください。

14) 偏荷重等の仕事トルクがかかる場合、インデックスマンの据付姿勢によっては、入力軸やモータなどが設定回転速度以上となり、回生電力でインバータがトリップする恐れがあります。
機械側に安全装置をつけてください。昇降物落下等の恐れがあります。



注意：

RGIB出力軸及び固定軸にラジアル力または曲げモーメントを加える時は、
必ずインデックスマンが停留域に入っていることを確認してください。

15) RGIBの出力軸及び固定軸において、旋回時にやむを得ずラジアル力または曲げモーメントが加わる場合は、外部にガイド及びカップリング機構等を設けて、インデックスの出力軸には旋回に必要な負荷だけをかけるようにしてください。

3. 運転準備

運転に入る前にまず次のことをお確かめください。

1) 各部のボルトやネジにゆるみがないか確認ください。

2) 入力軸、出力軸の接続にゆるみやガタが無いか確認ください。

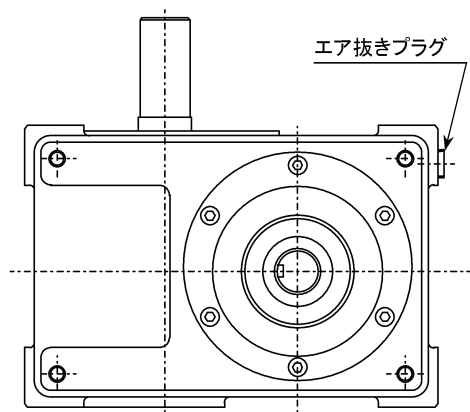
ゆるみやガタがあると、テーブルの回転がぎこちなくなったりショックの原因になります。

3) 給油と潤滑油

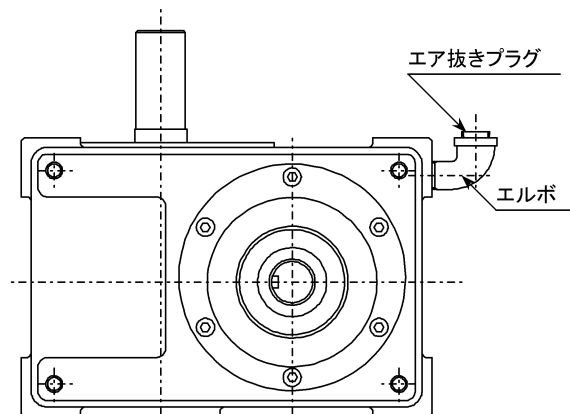
インデックスの本体には潤滑油が入れてありますが、油面が油面計の中央まであるかお確かめください。また、運転開始前には、付属の空気穴付プラグに取り替えてください。油漏れの要因となる恐れがあります。
(RGIS・RGOS 025,032はグリース封入タイプのため確認の必要はありません)

なお、使用回転速度、環境等で内部温度の上昇によって空気穴付プラグより潤滑油が漏れ出る場合があります。
この場合は配管用エルボ等を使い、漏れ出ないように配管を追加してください。

・ 通常の場合



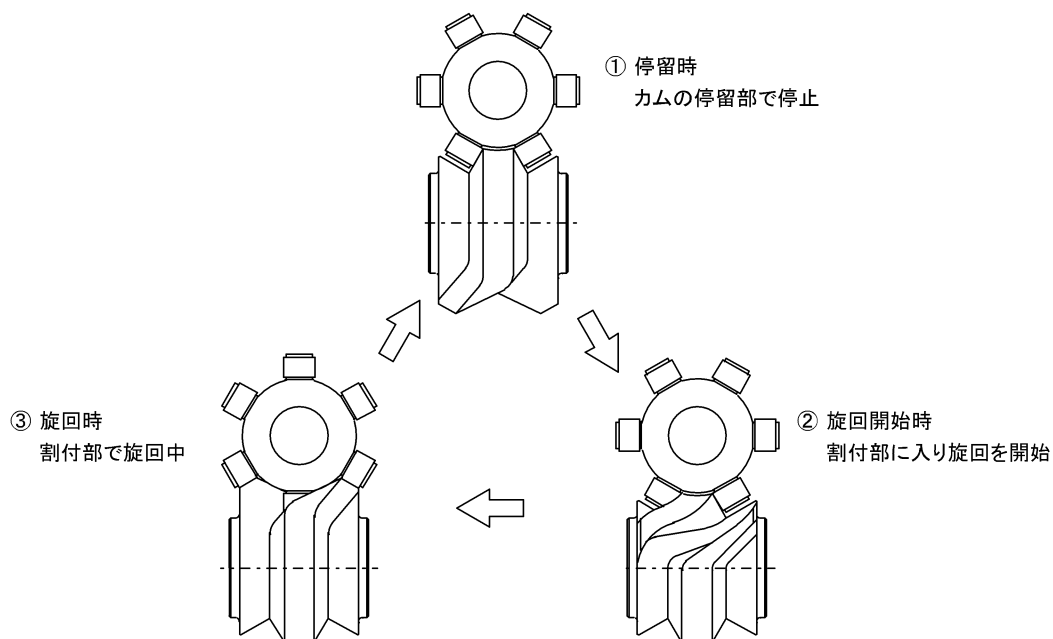
・ 配管が必要な場合（配管は御社にて準備ください。）



4. 適切な使用方法

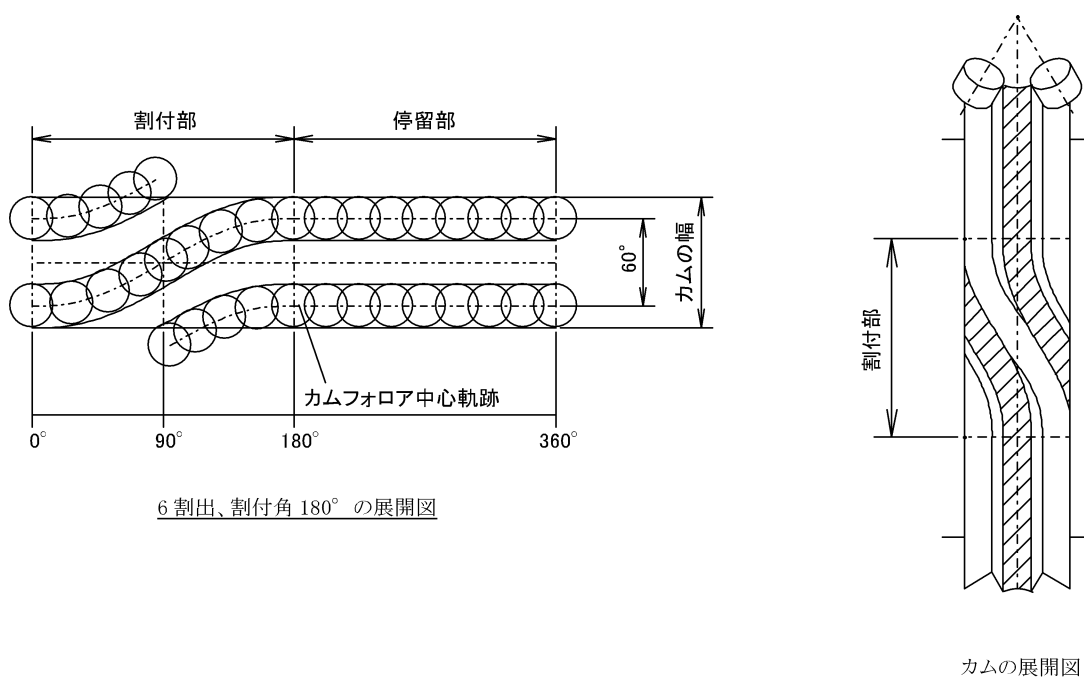
1) 動作の解説

(1) ローラギアカムとカムフォロア付タレットの位置関係は下図のようになっています。



(2) カム割付角

カム溝の1周 (360°) は停留部 (直線部) と割付部 (曲線部) からなっています。停留部ではカムを回転させても出力軸は旋回しません。割付部にカムフォロアがあるときカムを回転させると旋回します。この旋回に相当するカムの回転角を割付角といいます。



2) 適切な使用方法

**警告** :

製品固有の仕様範囲内で使用してください。
仕様範囲外の負荷や回転速度ではインデックスマンの破損や動作不良・精度不良の原因となりますので、使用しなさい。

(1) 負荷トルク(出力トルク)を動定格出力トルク以下にしてください。(カタログ参照)

**警告** :

インデックスマンの運転中に可動部に触れないでください。
けがの原因になります。

(2) 入力軸回転速度

ご使用される入力軸回転速度は仕様の回転速度としてください。

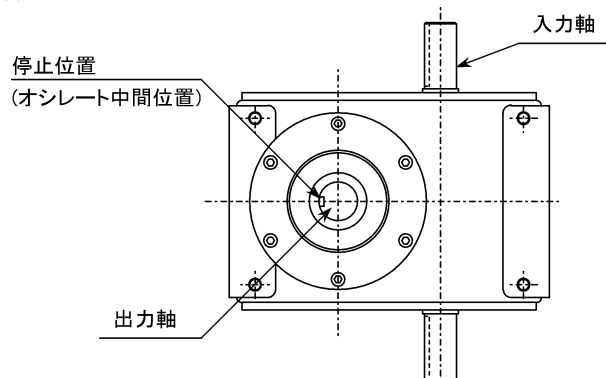
200rpm以上で使用する場合には、予圧調整等が必要になりますのでご相談ください。

**注意** :

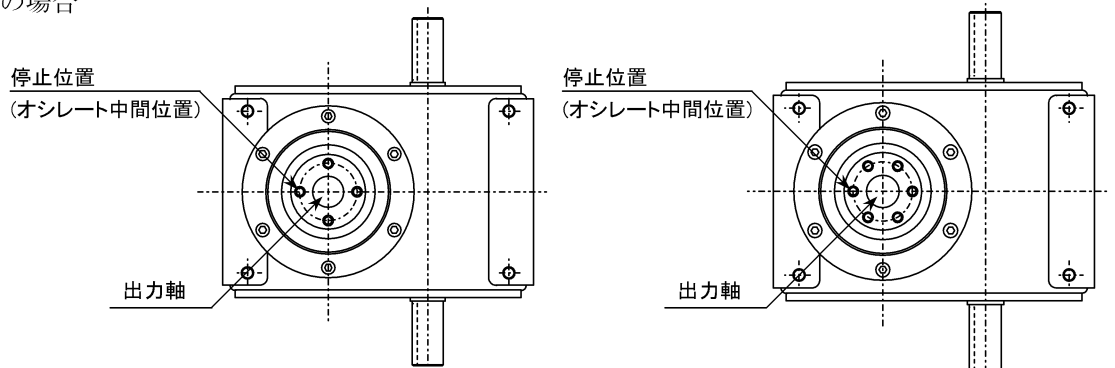
インデックスマンの起動・停止は停留部で行なってください。
入力軸を停留部以外で起動・停止させると、設計値以上の負荷トルクが働き、インデックスマンの破損等の原因になります。

(3) 出力軸の停止位置

①軸タイプの場合



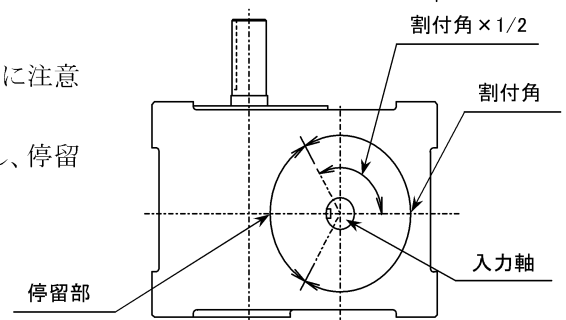
②フランジタイプの場合



(4) 入力軸のキー溝と出力軸停止範囲

入力軸から他のアタッチメント等のタイミングをとる場合にこの関係に注意してください。

入力軸のキー溝が下図の割付角の範囲にあるとき出力軸が旋回し、停留部の範囲にあるとき出力軸は停止します。



**警告**

インデックスマンの出力部動作中に、入力軸を急停止させないでください。

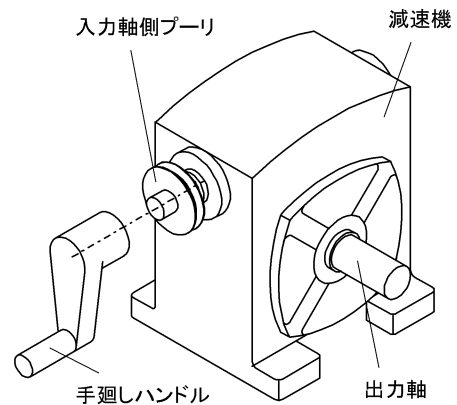
- 1) クラッチブレーキ等で入力軸を急停止させると設計値以上の負荷トルクが働き、インデックスマンの破損によりテーブル等がオーバーランして、けがや装置全体の破損の原因になります。
- 2) トルクセーバが付いている場合、トルクセーバがリリースし、テーブル等がオーバーランして、けがや装置全体の破損の原因になります。
- 3) やむを得ず安全確保のため等で非常停止が必要な場合は、急停止を避けるなど止める方法を検討すると共に、非常停止時の負荷トルクに耐えられるサイズのインデックスマンやトルクセーバを選定してください。

- (5) やむを得ず安全のため等の非常停止で停止した時には、必ず手でゆっくりと停留部まで回転させてから、再起動するようにしてください。

従って、上記の場合に備えて、駆動系の中に手で入力軸の回転ができるよう、手廻しハンドルを設けるようにしてください。

- (6) 異常音に注意

ご使用中に異常音が発生したらただちに運転を中止してください。カムフォロアの破損または内部部品の破損が考えられますので、最寄の営業所または工場へ連絡ください。



- (7) 防水、防錆対策の実施

インデックスマンの入出力軸および据付面は、防錆処理はしてありません。保管状態、使用雰囲気などにより錆が発生しやすくなります。

加工面には、防錆油、グリースまたは防錆塗料などを塗布すると防錆効果がありますので必ず実施してください。

**警告**

： 爆発・火災の恐れのある雰囲気中では、使用しないでください。

**注意**

水・油のかかる環境ではご使用にならないでください。

本製品は防水・防滴仕様ではない為、インデックスマンの動作不良や破損の原因になります。

水・油のかかる場合、カバーなどの対策をお願いします。

- (8) インデックスマンの入力軸トルクは、ギヤードモータや減速機等の出力軸許容トルク以下にしてください。
- (9) インバータでインデックスマンの駆動・停止を行う場合、両方に必要な制御時間の合計がインデックスマンの停留時間内であることを確認して下さい。
- (10) インバータの必要容量は、モータ容量以上のインバータを選定してください。
- (11) 1回転検出スイッチ等を取付ける場合、検出スイッチの応答時間を確認して下さい。
入力軸回転速度が速いと検出スイッチで検出できない場合があります。

5. 保守



警告 : 通電状態で保守・点検作業を行わないでください。誤動作、または制御回路の故障により突然動き出す可能性があります、けがの原因になります。



注意 : 入力軸に位置検出カムが付いている場合、位置がずれていないか、定期的に確認してください。ねじのゆるみ等で検出位置がずれている場合、装置が誤作動し、けがの原因となります。



注意 : インデックスマンには潤滑油が入っております。ご使用中にオイルシール部等から油がにじみ出す可能性があります。定期点検を実施いただくと共に、対象ワークの不良等事故につながる場合は油受け等の設置をお願いします。

1) 潤滑油の交換

潤滑油は、運転開始後500時間で取替え、その後は2,000時間毎にお取替えてください。(RGIS・RGOS 025,032はグリース封入タイプのため一般的には交換不要ですが、10,000時間以上の長期間ご使用になる場合や、高温の環境でご使用になる場合はご相談ください。)

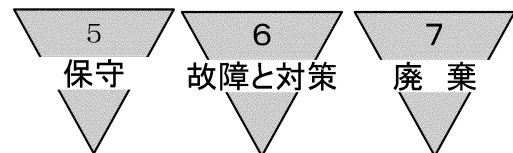
また、油量のチェックは毎週行い、不足した場合は補充してください。

下表の指定潤滑油を必ず使用してください。

種類 メーカー名	潤滑油		グリース
	入力軸回転速度 200rpm 未満	入力軸回転速度 200rpm 以上	
JX 日鉱日石エネルギー (CKD 標準品)	ボンノック M220	ギヤグランド GL-5 80W-90	
協同油脂(CKD 標準品)			シトラックス EP No.2
JX 日鉱日石エネルギー			エピノックグリース AP2
出光興産	ダフニー スーパーギヤオイル 220	アポロイル ワイドギヤーLW 80W-90	ダフニー エポネックス EP No.2
昭和シェル	シェル オマラオイル 220	シェル ゲルコパワーギヤ 80W-90	シェラルバニヤ EP グリース R02
エクソンモービル	モービルギヤ 600XP 220	モービルループ HD 80W-90	Mobilux EP2
コスモ石油	コスモギヤーSE 220	コスモギヤーGL-5 80W-90	コスモグリース ダイナマックス EP No.2

仕様や据付姿勢により必要油量は異なります。取替時期には下表を目安に潤滑油をご用意下さい。

機 種	油 量 (ℓ)	機 種	油 量 (ℓ)	機 種	油 量 (ℓ)
RGIS・RGOS・RGCS 040	0.1	RGIL・RGOL 110	2.0	RGIB 250	6
〃 050	0.5	〃 140	3.5	〃 350	25
〃 063	0.8	〃 180	8.0	〃 450	42
〃 080	1.2	〃 250	16	RGIM・RGCM 063	0.3
〃 110	3.8	RGIT・RGCT 063	0.3	〃 080	0.7
〃 140	6.0	〃 080	0.6	〃 100	1.2
〃 180	12.5	〃 110	1.0	RGID・RGCD 200	1.1
〃 250	38	〃 140	4.0	〃 250	2.2
〃 300	58	〃 180	9.0	〃 300	3.3
〃 350	70	〃 250	24	〃 350	6.0
〃 450	220	〃 350	35	〃 450	19
RGIL・RGOL 063	0.3	〃 450	70	〃 600	47
〃 080	0.8			〃 700	80

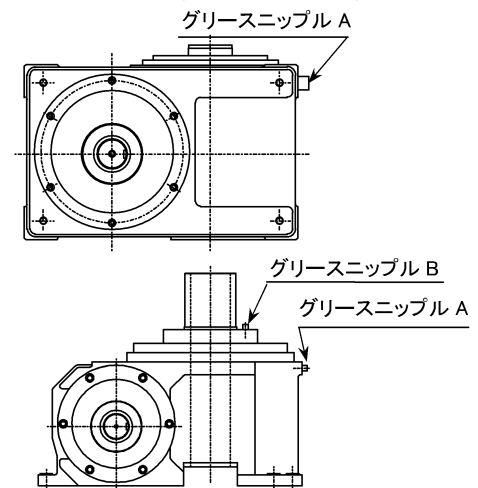


なお、次の機種につきましては、グリース交換も行ってください。

機 種	グリース注入力	
	ニップルA	ニップルB
RGIS・RGOS・RGCS450	500 cc	—
RGIT・RGCT 350	300 cc	90 cc
〃 450	500 cc	150 cc

ハウジング側面のグリースニップルから指定容量注入してください。

なおできましたら、この時に出力軸をゆっくり回転させながら注入するようにしてください。古いグリースはハウジング内に押し出され、潤滑油交換時古い潤滑油と共に排出されます。



6. 故障と対策

現 象			対 策
回転テーブルに ショックがでる 停止位置が狂う	インデックスマン本体	入力軸回転速度を下げるとショックがなくなる	出力軸負荷トルクオーバ、インデックスマン形番再検討
		同上 ショックが止まらない	負荷トルク値、駆動系等に問題がありますのでご一報ください。ご相談の上対策打合せをいたします。
		インデックスマン本体内部で異常音、温度上昇等異常が考えられる	内部で破損等が考えられますのでご一報ください。インデックスマン交換
	駆動関係	入力軸がギア駆動でギアのバックラッシがある	ギアのバックラッシを少なくする。
		ギア駆動でキーのガタ	キーを交換してガタを少なくする。
		チェーン、タイミングベルト駆動でたわみが大きくある	テンション装置によりたわみを取る
		入力軸回転位置の検出スイッチの位置が悪い	入力軸回転位置の検出スイッチ位置調整
		入力軸回転位置の検出スイッチの不良	交換
		ウォーム減速機のバックラッシ	ウォーム減速機オーバーホール
		ギヤードモータ減速機に加わるオーバーロード	出力軸過負荷対策またはウォーム減速機の使用
		クラッチの切れ不具合	クラッチ点検
		非常停止の使用度数が多い	非常停止の原因除去をしてください。
	インデックスマン本体の固定方法	取付、締付けの不完全	固定を確実に行ってください。
	サブテーブルの固定方法	締付力不足、ノックピンゆるみ	増締点検をしてください。
	負荷の異常	インデックスマンの動定格出力トルクを越えて使用	負荷トルク値を再計算して対策はご相談ください。
	過負荷保護装置	設定トルク値の不具合	設定トルク調整
		繰り返し精度不良	交換
インデックスマンが 回らない	インデックスマン本体 および駆動系	インデックスマン本体内部異常	交換またはご一報ください。
		モータの故障	交換
		ブレーキ装置が入ったままになっている	修理または交換
		冷寒使用で潤滑油の粘度上がり過ぎ	潤滑油交換 (取説内の潤滑油で低粘度用を使用する)

7. 廃棄

本製品の使用材料は金属、ゴム及び潤滑油を使用しています。

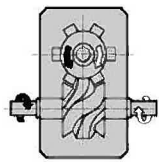
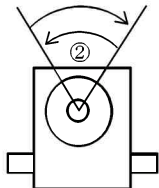
本製品は燃やすことができませんので、産業廃棄物として処理してください。

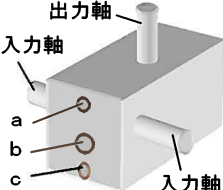
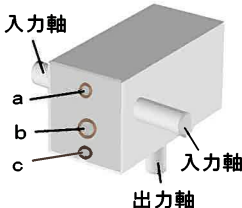
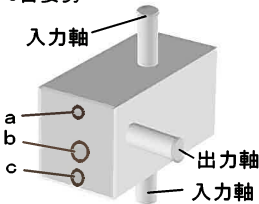
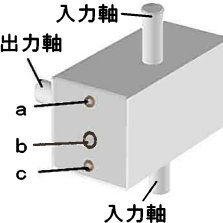
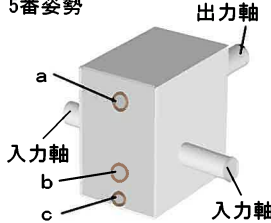
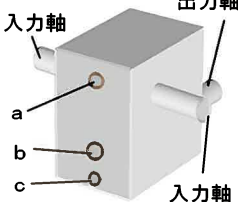
8. 製品仕様

①. 形番の表示方法

RGIS
080
-
006
120
S
1
S
1
-X
123456

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ) (ヘ) (ト) (チ) (リ)

(イ)機種		(ロ)軸間距離		(ハ)割出数(RGIS) 振り角(RGOS) 減速比(RGCS)		(ニ)総割付角		(ホ)カム曲線		(ヘ)カムのねじれ方向・停留数(インデックス) 揺動パターン(オシレート) カムのねじれ方向(レデューサ)		
RGIS RGIL RGIT RGIB RGIM RGID	スタンダード 広角度 テーブル ベーシック 小形多分割 偏平	025 ∫ 700	25mm ∫ 700mm	002 ∫ 096 180 ∫ 030 003 ∫ 040	2割出 ∫ 96割出 180° ∫ 30° 1/3 ∫ 1/40	045 ∫ 360	45° ∫ 360°	S C T R	MS曲線 MC曲線 MT曲線 等速回転 曲線	1 ∫ 4 5 ∫ 8	左ねじれ・1停留 ∫ 左ねじれ・4停留 右ねじれ・1停留 ∫ 右ねじれ・4停留	左ねじれ 
RGIS RGOS RGCS	インデックス オシレート レデューサ									T S L R	右図参照 右図参照 左ねじれ 右ねじれ	揺動パターン詳細 Tの場合 ① 

(D)出力軸形状		据付け姿勢・ハウジング材質(チ)				
S F	ストレート フランジ	1	1 番姿勢・FC ハウジング	1番姿勢	2番姿勢	3番姿勢
		2	2 番姿勢・FC ハウジング			
		3	3 番姿勢・FC ハウジング			
		4	4 番姿勢・FC ハウジング			
		5	5 番姿勢・FC ハウジング			
		6	6 番姿勢・FC ハウジング			
		A	1 番姿勢・AL ハウジング	4番姿勢	5番姿勢	6番姿勢
		B	2 番姿勢・AL ハウジング			
		C	3 番姿勢・AL ハウジング			
		D	4 番姿勢・AL ハウジング			
		E	5 番姿勢・AL ハウジング			
		F	6 番姿勢・AL ハウジング			
		RGIB シリーズの a,b,c は図中の反対面になります。			a : 給油口 b : 油面計 c : 排油口	
		(リ)特別仕様No.				
“X”のあと 数字 6桁						

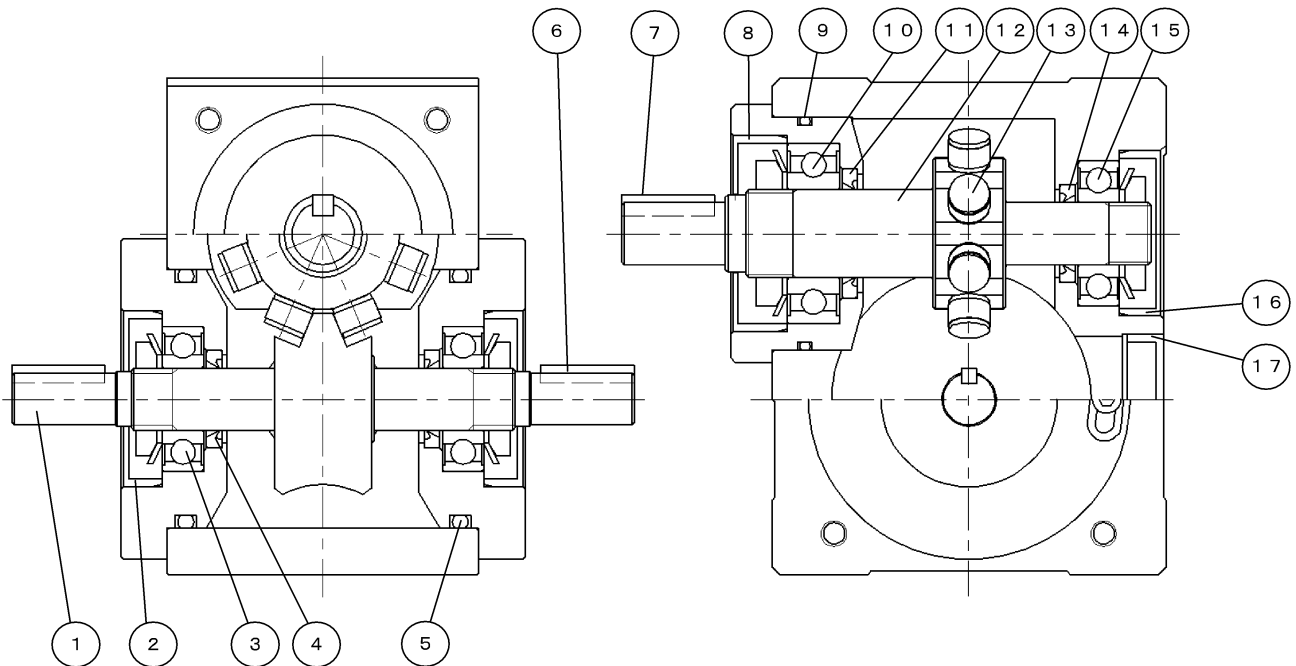
オプション付の形番についてはカタログを参照してください。

②. その他

特性値・外形寸法・静定格出力トルク、動定格出力トルク及び精度についてはカタログを参照してください。

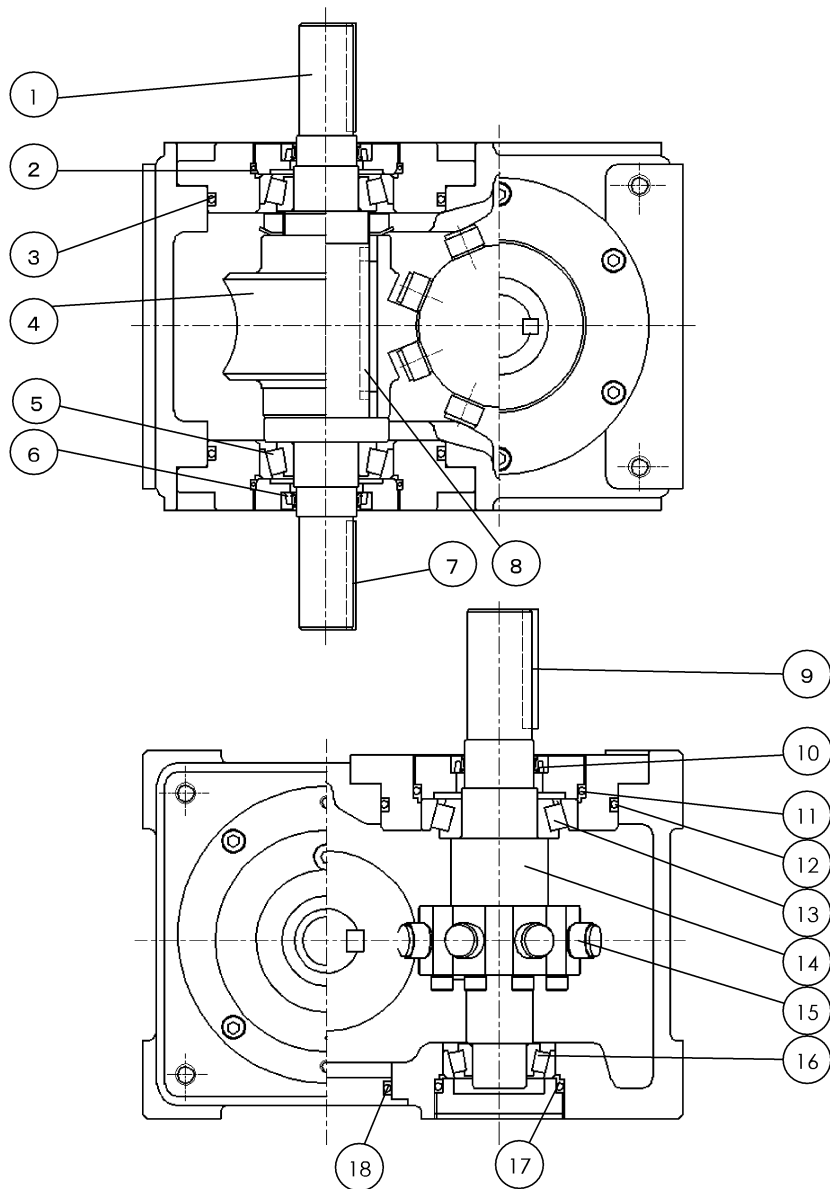
9. 内部構造図

1) RGIS025・032



品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	カム	7	平行キー	13	カムフォロア組立
2	カム軸カバー	8	出力軸カバー (A)	14	Gガタシール
3	軸受	9	Oリング	15	軸受
4	Gガタシール	10	軸受	16	出力軸カバー (B)
5	Oリング	11	Gガタシール	17	シールキャップ
6	平行キー	12	出力軸	18	

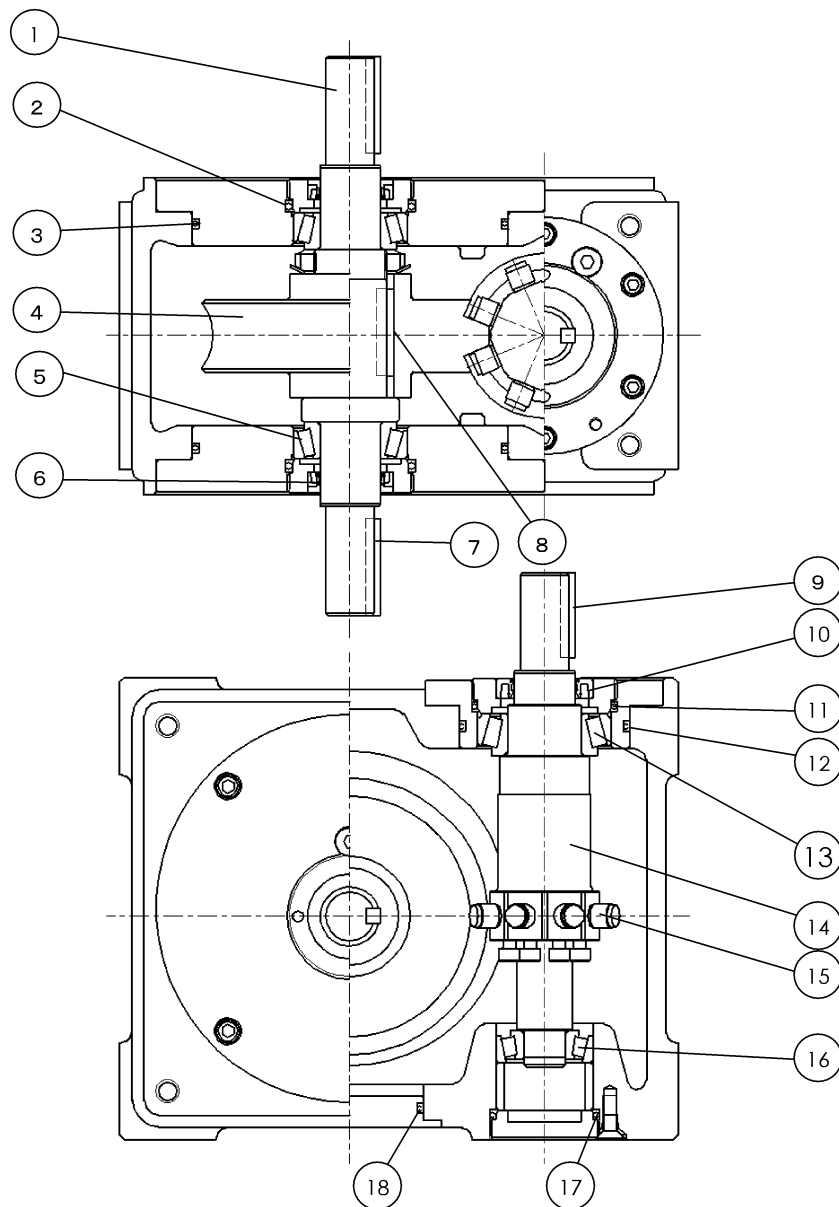
2) RGIS040～450



品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	入力軸	7	平行キー	13	軸受
2	Oリング	8	平行キー	14	出力軸
3	Oリング	9	平行キー	15	カムフォロア組立
4	カム	10	オイルシール	16	軸受
5	軸受	11	Oリング	17	Oリング
6	オイルシール	12	Oリング	18	Oリング

注: Oリング、オイルシール、軸受は消耗部品です。

3) RGILシリーズ

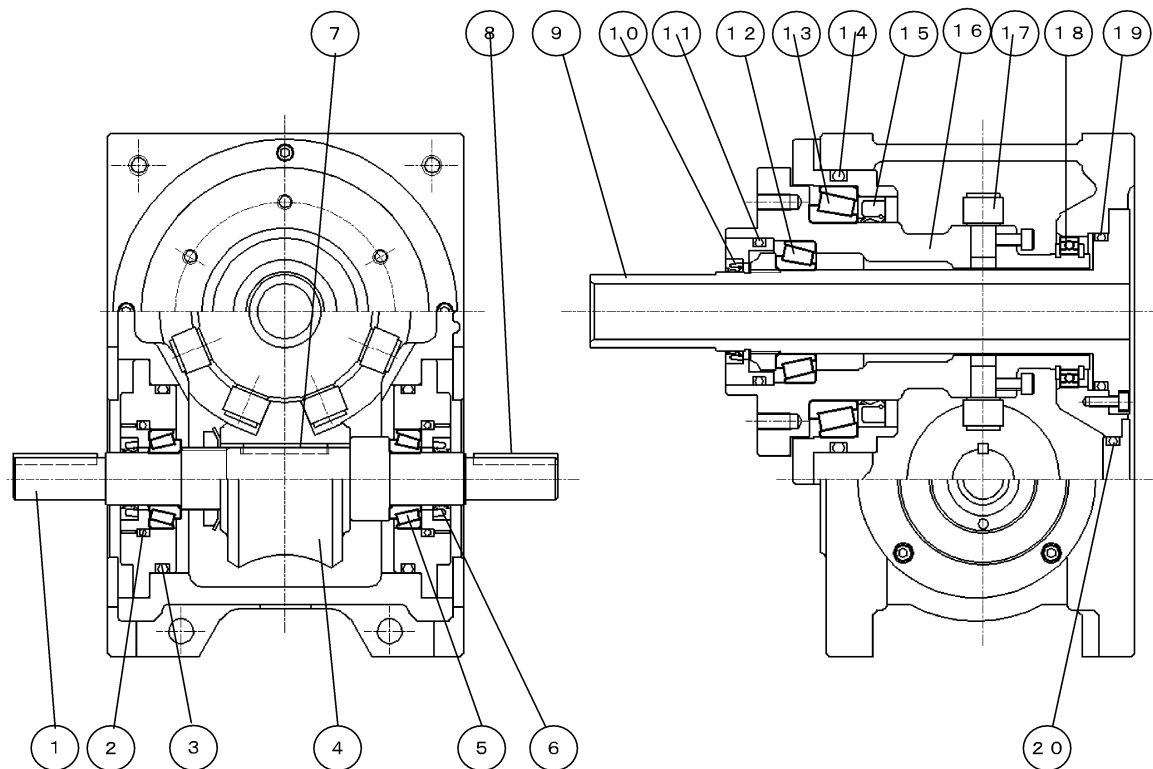


品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	入力軸	7	平行キー	13	軸受
2	Oリング	8	平行キー	14	出力軸
3	Oリング	9	平行キー	15	カムフォロア組立
4	カム	10	オイルシール	16	軸受
5	軸受	11	Oリング	17	Oリング
6	オイルシール	12	Oリング	18	Oリング

注: Oリング、オイルシール、軸受は消耗部品です。

9
内部構造図

4) RGITシリーズ



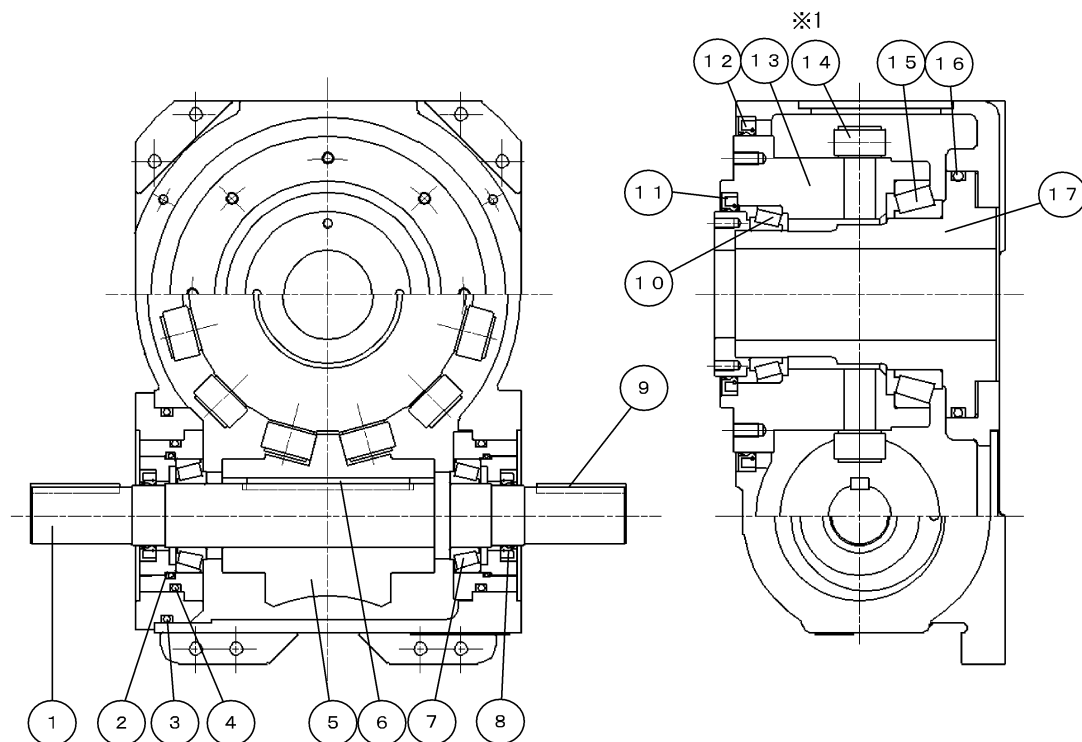
品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	入力軸	8	平行キー	15	オイルシール
2	Oリング	9	中空固定軸	16	出力軸
3	Oリング	10	オイルシール	17	カムフォロア組立
4	カム	11	Oリング	18	軸受
5	軸受	12	軸受	19	Oリング
6	オイルシール	13	軸受	20	Oリング
7	平行キー	14	Oリング		

注1: ⑮ のオイルシールはRGIT・RGCT 140以上には使用しておりません。

注2: ⑩ のオイルシールはRGIT・RGCT 140～250ではダストシールとなります。

注3: Oリング、オイルシール、軸受、ダストシールは消耗部品です。

5) RGIBシリーズ



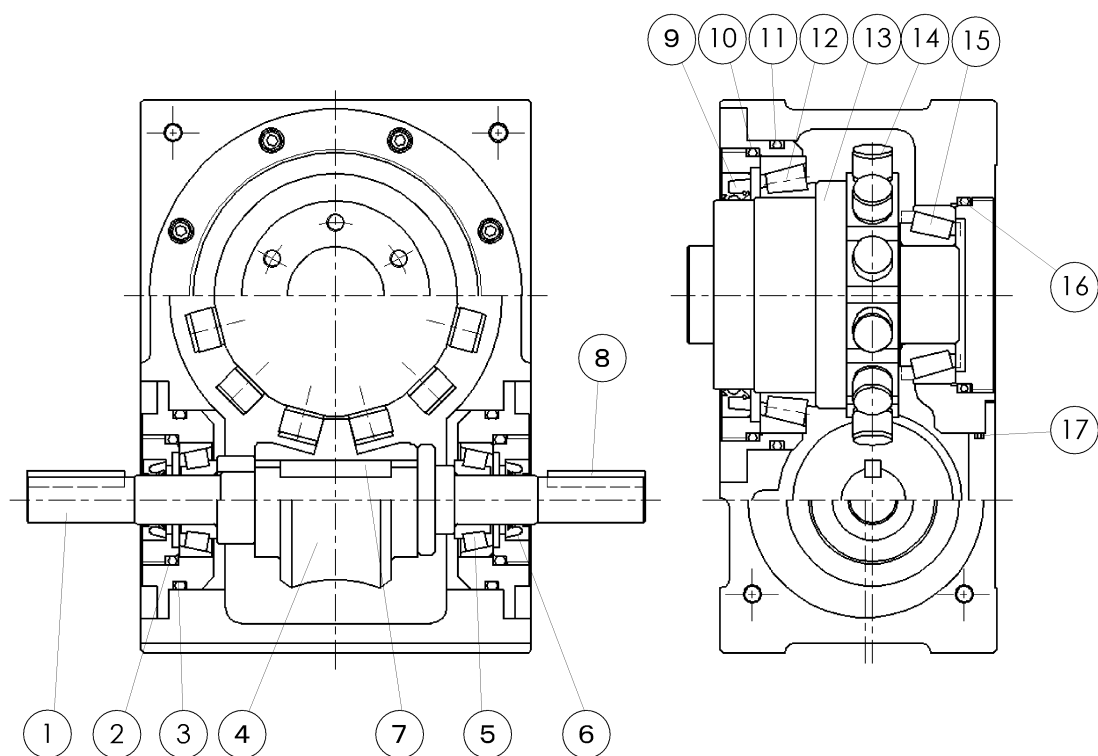
品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	入力軸	7	軸受	13	出力軸
2	Oリング	8	オイルシール	14	カムフォロア組立 (※1)
3	Oリング	9	平行キー	15	軸受
4	Oリング	10	軸受	16	Oリング
5	カム	11	オイルシール	17	中空固定軸
6	平行キー	12	オイルシール		

注1 Oリング、オイルシール、軸受は消耗部品です。

注2 ⑭ カムフォロア組立についてはシリアル番号にて管理していますので製品銘板に記載のシリアル番号(数字7桁)を確認してください。



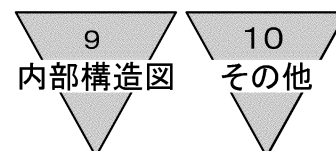
6) RGIMシリーズ



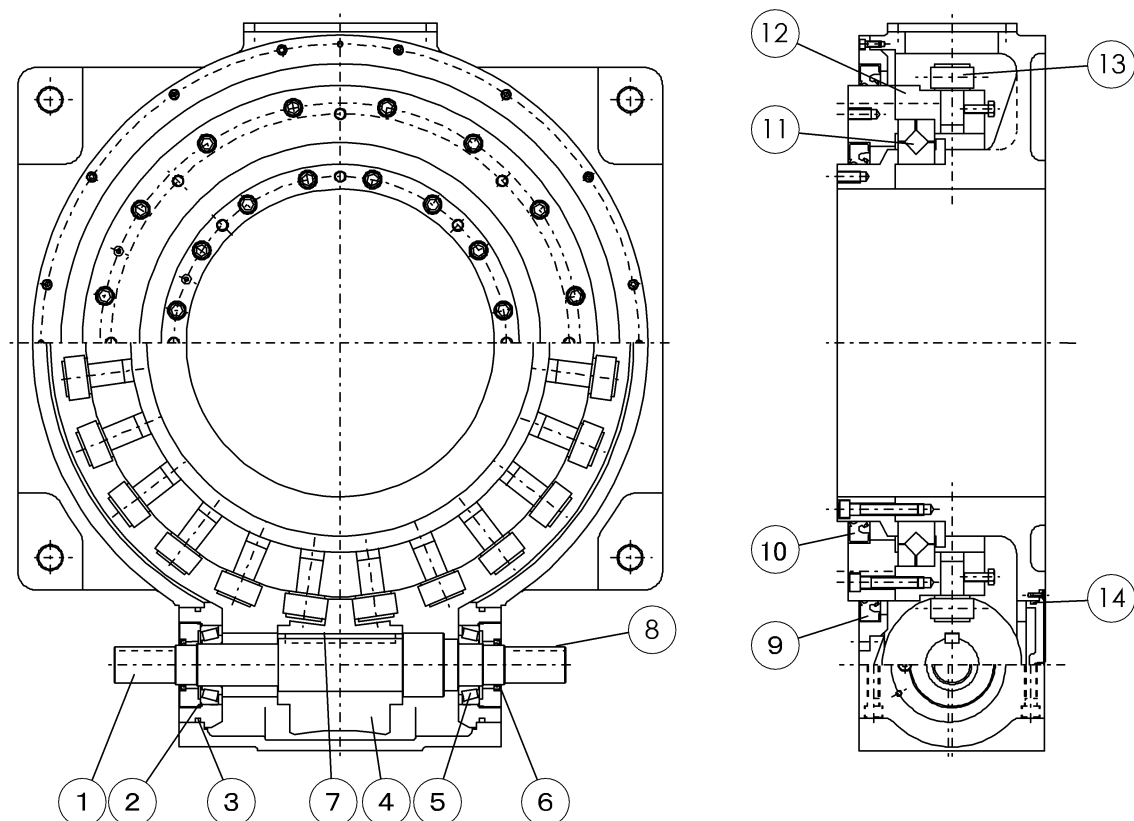
品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	入力軸	7	平行キー	13	出力軸
2	Oリング	8	平行キー	14	カムフォロア組立
3	Oリング	9	オイルシール	15	軸受
4	カム	10	Oリング	16	Oリング
5	軸受	11	Oリング	17	Oリング
6	オイルシール	12	軸受		

注1:⑩OリングはRGIM・RGCM080, 100 には使用しておりません。

注2:Oリング、オイルシール、軸受は消耗部品です。



7) RGIDシリーズ



品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
1	入力軸	6	オイルシール	11	軸受
2	Oリング	7	平行キー	12	出力軸
3	Oリング	8	平行キー	13	カムフォロア組立
4	カム	9	オイルシール	14	Oリング
5	軸受	10	オイルシール		

注: Oリング、オイルシール、軸受は消耗部品です。

10. その他

万一故障が起こった場合、修理を依頼されるとき、各部品が必要なときは、製品銘板に記載の型番を確認の上、最寄りの支店、営業所または代理店に問い合わせください。

また、取扱いでご不審な点がありましたら、お問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。